

414
A 3524



高嶺石炭海外運送船買入代金証書貸下ノ願
長崎縣下高嶺炭坑ハ其石質ノ善美ナルト出炭ノ巨量
ナルト海ノ需用ノ盛ナルト此ニツクテ以テ東洋他ニ比類ナ
キ良坑タルハ今更申ス迄モナク近年ニ至リ畚鍤
益々整頓シ出炭益増加セリ一昨明治十年該炭
坑主後藤家次郎ト賣炭代辦人英高ジヤーンマ
ゼソン社中トノ間ニ於テ一大葛藤ヲ生レシカ爲メ
殆ニト其坑業ヲ全廢セシトスルノ際國之助其仲
裁人トナリ幸ヒニ双方無事ニ和解スルヲ得
ル後國之助政メテ出炭賣捌ノ依頼ヲ受ケテ來
不怠勤勉從事罷在候處一ヶ年間ニ海外輸出
セシモノ別表ニ掲ケル如キ巨量ニシテ其經費

天正十一年四月
限候郵寄附



ヲ向ハ、運送ノ費ニ超ユルモノナク、即チ石炭一
噸ヲ支那上海へ送致セント欲セハ其要スル貯ノ
賃銀ハ貳弗以上三弗五十錢トノ間トス而メ近來
ノ如キ一ヶ月ノ出立貳萬三千噸余ニ上ルコトアリ、仮
リニ其半ハヲ輸出スルモノトセバ、一ヶ月殆ト十五萬
八千噸ニ近シ、試ミニ一噸平均貳弗ノ運賃ヲ要
スルモノトセハ、即チ其額二十五萬六千弗余ナ
リ、實ニ莫大ノ遺利ト可申然ルニ、今之カ運送
ニ從事スル船舶ハ一トシテ外人ノ所有ニ非カルハ
ナク、此ノ如キ巨利ハ尋常ノ之ヲ外人ニ委セザル
ハ、ナク、真ニ痛歎甚ノ至リニ堪ヘサルコト、御坐
候況ニヤ、昨春ノ如キ、西細曲東方ニ西洋船舶稀

少ナリシニ依リ、高嶋石炭四萬噸余ノ巨量ハ
又シテ長崎港ニ貯藏シ之カ為メ大ニ其炭質
ヲ損シ、價格ヲ減シ為メ、損失スルモノ、言語ニ堪
エス頃、日亦夕再ヒ船舶ノ稀少ヲ告ケ為メ、貳
萬噸余ノ貯炭ヲ来スニ至シリ、抑々此ノ不使ナ
カラシメ又々年々外人ニ附與セル彼ノ貳十五萬
弗余ノ大利ヲ我カ手裏ニ占ムルハ、決シテ難事ニ
非ラス、然リト至氏今之ニ從事セント欲スルモノ
アラシモ、坑主ト代辦ノ内情關係アルアリテ、決
シテ他人ノ此間ニ察涉シ得ヘキニ非ス、故ニ國之助
令、單身進ニテ其衝ニ當リ、船舶ヲ購求シ、運輸
ヲ使ニシ、必ス國家ノ為メニ多少盡ス所アラント

欲ス然リト金氏如何セシ資金ニ乏シク為メ躊躇
スル所アリ若シ事ヲ外人ニ計ラシハ是等ノ資
金ヲ得ル決シテ難キニ非ラスト金氏權利ヲ犧
牲ニナスノ患アリ是レ國之助ノ力々欲セサル
所ナリト伏テ希クハ賢明ノ政府特別ノ御詮
議ヲ以テ坑主ニ係ラス銀貨凡ソ貳十五百四
又ハ相當ノ通貨即チ千噸積以上ノ濠船貳隻
凡ハ帆船ニ隻ヲ購ホスルニ足ルモノヲ三四即チ船
舶買入ノ都度ニ御賞下ケアラシメテ國之助
短戈微力ナリト金氏禮進以テ運送ノ事ニ
從ヒ外人ニ利セラル、ノ利ヲ我ニ收メ外人ニ右
メニフル、ノ權ヲ我ニ占メ駟ヲ輸出入ノ差ヲ補ヒ

若シ余カアラハ他ノ運送使益ヲ計リ大ニ長
崎地方ノ高權ヲ挽回スルノ一助ヲラシム欲ス
幸ヒニ國之助ノ諸願ヲ御前濟アリテ前件
ノ金貨御賞下ケ相成ラハ其次年ヨリ九金
ハ十ヶ年賦トナシ毎年貳万五千圓宛必返
納仕ル可ク尤モ買入ノ船舶ハ之レニ充カノ海上
保險受負ヲ附テ并借金悉皆上納濟ノ日迄之
ヲ確實ノ抵当ニ差出し置キ申ス可ク決テ政
府ノ御損失ヲ曠シ候様ノ事力々仕ル間敷又
夕并借金返納ノ日迄ハ國之助事勢監督ノ
為メ始終吏員一名ヲ長崎港、御出張被仰付
時、實地御見聞被下度候國之助赤心ノ存

入心所直敷御情察アリテ將然諸願、
旨至リ急御可憐アラシキ事偏ニ奉
願候頓首再拜